

# なよろ



名寄市観光キャラクター  
「なよろう」



令和4年  
第1回定例会  
第64号  
令和4年5月1日  
発行



名寄市議会ホームページ

- 定例会で決まったこと ..... 2
- 議決結果・賛否の分かれた議案・意見書 ..... 3
- 予算審査特別委員会の概要・総括質疑 ..... 4～5
- 一般質問に9人（3月7・8日） ..... 6～10
- 〈特集〉大学生との懇談会 ..... 10
- 各常任委員会活動報告 ..... 11～14
- 議会報特別委員会視察報告 ..... 15
- きぼう（山添実咲さん、田中吉則さん） ..... 16

題字 名寄高等学校 田中羅良(たなかから)さん

令和4年 第1回定例会 2月21日～3月17日

▽令和6年4月1日から義務教育学校として智恵文小中学校を開校  
 ▽保育士や放課後児童支援員等を対象に特殊勤務手当に「処遇改善手当」を加える

▽令和4年第1回定例会は、2月21日から3月17日までの25日間の会期で開会。32件の議案を審議  
 ▽開会初日に加藤市長から行政報告  
 ▽令和3年第4回定例会で経済建設常任委員会に付託されていた「名寄市企業立地促進条例の制定について」「名寄市工場立地法準則条例の制定について」「名寄市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について」委員長報告のとおり原案可決  
 ▽7日、8日の一般質問では、9人の議員が市政の課題について質問

主な条例の制定

☆名寄市体育施設の管理に係る関係条例の整備に関する条例の制定について

市内体育施設の管理に係る関係条例13本を一括で教育委員会から総合政策部に移管するため条例を制定しました。  
 ☆特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について

市長が事故を起こしたことにより、給料月額を一カ月間

の減額措置を行うため、条例を制定しました。

主な条例の改正

☆名寄市立学校設置条例の一部改正について

智恵文小学校及び智恵文中学校を令和6年3月31日で閉校し、同年4月1日から義務教育学校として智恵文小中学校を開校するため、条例の一部を改正しました。

☆名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正に

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議を全議員で可決

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナへの侵略は、明らかに同国の主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁ずる国際法に違反するものであり、断じて許されない行為である。

こうした力による一方的な現状変更はヨーロッパにとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態であり、非核平和都市宣言をしている本市としても看過できるものではない。本市はこれまで、30年の長きにわたり、ロシア連邦サハリン州ドーリング市と、経済交流や人的交流を通じて、友好を深めてきた歴史があるが、今回の行為はこれまで積み上げてきた本市とドーリング市との関係さえも無にしかねない。

よって、名寄市議会は、今般のロシアの侵略行為に対し強く非難するとともに、ロシア軍の攻撃停止、即時撤退及び国際法の遵守を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月17日

名寄市議会

について

保育士や放課後児童支援員等を対象に、令和4年2月から特殊勤務手当に「処遇改善手当」を加え収入を3%程度引き上げる措置を実施するため、条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆再生可能エネルギーによる

マチの活力UP事業費

宅配事業者が保有している充電式輸送用保冷機のエネルギーを再生可能エネルギーに転換する実証実験を実施するため、1100万円を増額しました。

☆地域交通対策事業費

新型コロナウイルスの影響を受けている地域間幹線バスの事業者に対し給付金を給付す

るため、678万6千円を増額しました。

人事案件

◆教育委員

梅野 新氏(再任)

名寄市西1条北2丁目

臨時会を開きました

令和4年第1回臨時会が1月21日に開催され、新型コロナウイルスの影響を受ける住民税非課税世帯等を対象に、1世帯に10万円を給付する国の支援事業を盛り込む令和3年度名寄市一般会計補正予算(第10号)について審議し、原案のとおり可決しました。

## 令和4年 第1回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
令和3年第4回定例会付託議案第2号	名寄市企業立地促進条例の制定について	原案可決
令和3年第4回定例会付託議案第3号	名寄市工場立地法準則条例の制定について	原案可決
令和3年第4回定例会付託議案第4号	名寄市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	原案可決
議案第1号	名寄市体育施設の管理に係る関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市農業後継者育成奨学金貸付条例の廃止について	原案可決
議案第6号	令和3年度名寄市一般会計補正予算(第11号)	原案可決
議案第7号	令和3年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第8号	令和3年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第9号	令和3年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第10号	令和3年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第11号	令和3年度名寄市立大学特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第12号	令和3年度名寄市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第13号	令和3年度名寄市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第14号	令和3年度名寄市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第15号	令和4年度名寄市一般会計予算	原案可決
議案第16号	令和4年度名寄市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第17号	令和4年度名寄市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第18号	令和4年度名寄市食肉センター事業特別会計予算	原案可決
議案第19号	令和4年度名寄市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第20号	令和4年度名寄市立大学特別会計予算	原案可決
議案第21号	令和4年度名寄市病院事業会計予算	原案可決
議案第22号	令和4年度名寄市水道事業会計予算	原案可決
議案第23号	令和4年度名寄市下水道事業会計予算	原案可決
議案第24号	名寄市教育委員会委員の任命について	同意
議案第25号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第26号	令和3年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第27号	特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第28号	名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第29号	名寄市議会基本条例の一部改正について	原案可決
議案第30号	名寄市議会会議規則の一部改正について	原案可決
議案第31号	名寄市議政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第32号	令和4年度名寄市一般会計補正予算(第1号)	原案可決

## 《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ					議	公	共					
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤靖	高野美枝子	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男				清水一夫	塩田昌彦	東川孝義	山田典幸	黒井徹
議案第15号	令和4年度名寄市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第16号	令和4年度名寄市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

## 令和4年 第1回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	令和3年度名寄市一般会計補正予算(第10号)	原案可決

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎コロナ禍での消費拡大対策の強化と水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書
- ◎新規就農者育成総合対策等における農業予算の確保を求める意見書

令和4年度予算審査特別委員会

全会計495億6945万円を可決

第1回定例会において、令和4年度の各会計予算について、全議員で構成する予算審査特別委員会（東川孝義委員長・倉澤宏副委員長）を設置し、付託された予算案を審査しました。

市の令和4年度予算は、市長選挙を控えていたため骨格予算となりました。一般会計で前年度比10・8%増の236億778万円、国民健康保険特別会計ほか4特別会計で前年度比3・0%増の88億8919万円となり、企業会計を含む全会計の総額は、前年度比7・3%増の495億6945万円となりました。

3月14日から17日の4日間、で実質審議を行い、最初に各会派の代表による各会計全般に関する総括質疑および委員による質疑が行われ、男女共同参画の取り組み、子育て支援や高齢者・生活困窮者に関する施策、農業・観光に関する施策、除排雪事業、防災対策、

策、教育、市立大学に関することや病院事業など、総合計画の重点プロジェクトや総合戦略を中心としたさまざまな案件について慎重に審査を行いました。

審査の結果、一般会計及び国民健康保険特別会計については賛成多数により、その他の特別会計および事業会計は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、3月17日の本会議で委員長報告を行いました。



東川孝義委員長(左)と倉澤宏副委員長(右)

予算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

冬季スポーツ拠点化事業費

問 ジュニアスポーツアカデミーの新年度の具体的な活動について。

答 3年度は低学年と中学生など、学年が幅広くレベルの違いから効率的な指導が行えなかった。新年度は、小学校の低学年から幅広く運動の機会を実施できるよう、また運動能力の向上を願い小学1年生から3年生を対象にキッズアカデミー部門を新たに開設する。

高齢者福祉事業費

問 要介護高齢者等紙おむつ用ごみ袋支給事業で、20リットルの炭化ごみ袋が月10枚の支給となっており、少ないと思うが検討を。

答 日々出るおむつ処理には足りないと思うが、市が全て支給することは難しい。今後、利用者の状況を見ていきたいが、当面は現状の枚数で対応いただきたい。

こどもの遊び場整備事業費

問 西條名寄店内の名寄市こどもの遊び場「ここにこらんど」の遊具整備費用がゼロとなっているが今後追加の考えはあるのか。

答 昨年12月にオープンしており、利用者の声を聞き、改めてどのような遊具を整備すべきか検討するため、新年度予算（骨格編成）ではゼロとしている。今後の政策予算で検討する。

市道除雪・排雪対策事業費

問 市道除排雪対策新規事業の除排雪システム実証実験の概要や効果について。

答 除排雪車両にGPSを積んだスマホやタブレットを搭載して作業し、苦情の多い箇所や除排雪作業上の注意箇所を知らせるもの。実績データが蓄積されることでベテランから若いオペレーターへ技術を継承、持続的な除排雪体制の維持につなげたい。

総括質疑



持続可能で健全な財政運営を

市政クラブ 山田典幸 委員

今後の名寄市の財政課題

問 新年度予算において、基金繰入金が約16億円、前年度

予算比約30%と大きく増加している。今後の財政状況の推移と課題についての認識は。

答 老朽化が進む公共施設への対応などの課題があり、今まで以上に基金に依存した財政運営にならざるを得ない。

問 財政規律見直し検討の考え方について伺う。

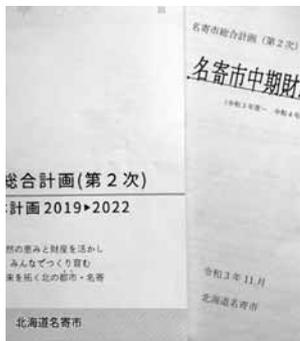
答 財政規律を遵守するがために、必要な公共施設整備を先送りするなどの財源確保の事業調整は、行政サービスの低下につながることから、総計後期計画の策定とあわせて見直しを検討する。

普通建設事業について

問 普通建設事業費における資機材や燃料高騰への対応は。

答 燃料、資機材価格の高騰等を含み、適正な積算になるよう努めている。

問 資機材の入荷時期が不安



健全な財政運営で総合計画の具現化を

定な状況の中、発注時の対応と工期への影響は。

答 適宜調査を行い工期を設定しており、大きな情勢の変化がなければ当初の工事費、工期で施工できると認識しているが、設計時に想定できない事情が生じた場合は契約変更や、場合によっては予算の繰越、継続費の設定等に対応していく。

問 工事発注の平準化についての考え方は。

答 市内事業者の受注機会の確保や、後年度の市債償還金の平準化のためにも、工事発注の平準化は必要と考えている。今後も計画的に事業を遂行していくよう努める。



将来に禍根なき運営を

市民ネット 佐藤靖 委員

議会軽視ではないか

問 新年度予算案の質疑を行う前に、今定例会初日に可決

した「名寄市体育施設の管理にかかる関係条例の整備に関する条例の制定」について、関連予算がすでに令和4年度

予算説明書に記載されていたが、議会軽視に当たるとは

ないか。

答 法規上問題はないと理解しているが、議会へ提出する議案は慎重に取り扱うべき、という指摘もしつかり受け止める。

中期計画を上回る編成では

問 昨年11月の議員協議会で、財政規律の一部見直しを示唆しながらも、厳しい中期財政

計画が示された。加えて、4年度予算編成にかかわる市長訓令でも「楽観視できない」と慎重な予算要求をしたが、

結果は予定規模を約38億円上回る要求となり、骨格予算編成としながらも一般会計では

前年度比10・8%増の大型編成となった。計画は何だったのか。

答 中期財政計画策定後、交付税が変わってきたこと、事業費そのものが増えたことが要因にはあるが、今後も基金に依存した厳しい財政運営は変わらない。

問 肉付けは3・4億

答 市長選後の肉付け予算は、3・4億円を想定。

問 新たな予算編成手法検討を

答 厳しい財政事情にあつて、将来への負担を強いられないため、予算の枠配分方式の導入など、名寄らしい編成のあり方も検討すべきではないか。

答 提言として受け止めさせていたたく。



名寄市にはまだまだ課題が山積している

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します  
二次元コードより発言の様子を見ることができます



未婚農業後継者の結婚支援

支援事業と問題点等について

**問** 本市の未婚農業後継者の対象者は何人いるのか、どのような支援事業を行っているのか、その支援事業の問題点と対策は、どのように取り組んでいるのか伺う。

**答** 未婚の農業後継者は、JA青年部の調査によると、20代から30代の農業者のうち40名から50名程度とされている。支援事業は農業後継者対策協議会において、参加希望された女性との出会いの場の提供などが計画されて来たところだが、コロナ禍のためオンラインによる婚活事業を実施し、令和2年度の実績は3名、参加者から問題点を指摘され令和3年度は見送った。婚活事業に対するニーズは多様化していることから実態把握に努め、取り組みを検証し見直しながら進めていく。

**問** 別海町では町内に嫁いだ大阪府枚方市出身の女性の縁

市政クラブ

清水

一

夫

議員

で友好都市宣言を締結。枚方市の協力を得て関西圏の未婚女性の参加募集をし、これまでに93組が成婚。これを参考に、本市は東京都杉並区と協定を締結していることから関東圏の未婚女性を参加募集してはどうか。

**答** 名寄市農業後継者対策協議会において、可能性を調査する。

**他の質問** 冬季スポーツ施設等の整備について



春を待つハウス群(中名寄)



農政で激変緩和措置を求める

通信網や無線基地局整備を

**問** 郊外には電波の弱い農村地区がある。近年、労働力不足を補うため期待されるスマート農業や、不感解消には一定の強度の電波が必要で、民間事業者の供給が期待できないため、行政による無線基地局整備の考え方を伺う。

**答** 国は携帯電話事業者から提出された「第五世代移動通信システムの導入のための特定基地局の開設計画」を認定したこと、2023年度未までに、通信システムのエリア外人口の解消に一定の目途が立ったとの認識が示されている。行政による基地局整備では、設置での国の補助事業はあるが、維持費用が自治体負担となることから現状では難しい。

**問** 農水省が示した「水田活用の直接支払交付金」の条件見直しの方針に対し、生産者に不安と戸惑いの声があがっ

市民ネット

佐久間

誠議員

ている。交付金が見直された場合の影響額はどの程度になるか伺う。

**答** 本市の対象水田のうち過去5年間水張りが行われていない面積は約1600haで全体の3割であり、令和3年度の交付単価で試算すると影響額は6億4千万円となる。

**問** 税金など本市への影響は。  
**答** 農業収入の減収に伴う住民税は3840万円、固定資産税では224万円の減額が見込まれる。



※「水田活用直接支払交付金制度」では生産者の声を反映すると共に、激変緩和措置が必要だ

※水田活用直接支払交付金制度：詳しくは農水省のホームページをご確認ください。

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



安心して暮らせるまちづくり

市政クラブ 遠藤隆男 議員

**障がい者福祉の推進について**

**問** 本市の障がい者就労の現状と支援体制について伺う。

**答** 民間企業への一般就労は、令和3年6月1日現在、実雇用率2・8%と法定雇用率の2・3%を上回っている。また、一般企業などへの就労希望の方へは就労移行支援で、一般企業などでの就労困難な方には就労継続支援により、働く場の提供と就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行っている。利用状況は、令和2年度実績で就労移行支援15人、就労継続支援104人であり、今後も、障がいのある方々の希望が叶うよう関係機関と協力・連携を図り、就労支援の充実に努める。

**問** 本市の障がい者・障がいへの理解を深めるための取り組み内容について伺う。

**答** 市広報やホームページ等の情報発信と理解啓発に係る研修会の開催、あらゆる機

会と媒体を活用した啓発・広報活動を行っている。また、

名寄市障がい者自立支援協議会での理解と知識を深める取り組みや、障がい者啓発週間にあわせた「アールブリュックト展」などの理解啓発に向けた様々な事業を行っている。今後も障がいや障がいのある方への更なる理解の深化に向け、取り組みを進める。

**他の質問** 社会的企業（ソーシャルファーム）・地域農業について



「生活」と「就労」に対する支援の充実を



安定的な農業基盤の構築を

市政クラブ 今村芳彦 議員

**水活交付金見直しについて**

**問** 水田活用の直接支払交付金事業の運用が見直しとなる影響と対策は。

**答** 稲作への意向が強まることで、アスパラガスなどの振興作物が減少することや、数量配分が生産者の意向にそぐわない場合などが想定される。また、農地の価格や流動化への影響も注視する必要がある。対策として、地域農業再生協議会で課題の洗い出しと検証を進め、国の支援策の詳細が示された後に関係機関各所と対応を検討する。

**名寄産業高校跡地の再活用は**

**問** 後継者育成に向けた「研修施設」や、農業振興センターの機能を強化する「補助施設」として、名寄産業高校が有する諸施設の有効活用を図ってどうか。

**答** 道教委から意向照会があり、全庁的な検討を行った。有償譲渡であることや、総合

計画や中期財政計画などとの整合性から現段階では希望なしと回答した。

**集出荷体制の強化を**

**問** 青果センターまでの主要経路である昭和通は路面の損傷が激しい。整備の考えは。

**答** トラックの往来が多く、改修要望も頂いている。大規模な改良工事が必要であり、事業費および他路線の整備状況から早急な整備は難しいが、将来的には整備を行いたい。



豊作までの第一歩。融雪剤散布作業の図(風連瑞生地区)

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します  
二次元コードより発言の様子を見ることができます



## 大学と協働のまちづくり

### 名寄市立大学の運営状況

**問** 名寄市立大学の運営状況及び今後の見通しについて。

**答** 本学の学生定員数は確保されており、歳入と歳出の均衡は保たれている。なお、大学振興基金の積み立ても行うなど健全な運営状況にある。

学生一人当たりの地方交付税措置単価はトップランナー方式の導入により、毎年約3%減少となっているが今後の国の動向など情報収集に努める。

**問** 受験生の現状と将来予測。

**答** 直近の受験者数の状況は学校推薦型選抜、一般選抜の前期日程及び後期日程ともに定員をオーバーしている状況にあるが、少子化による受験者数は減少傾向にあり、さらには旭川大学の公立化などの影響を鑑み厳しきは増すと予想され、本学の特徴を積極的にPRするなど広報活動を始める。2023年度スタートす



名寄市立大学校舎

市政クラブ

塩田昌彦 議員

### 旭川大学公立化の影響

**問** 本学の4学科と競合することになり、道北地域における選択肢が増えることから厳しさは増すが、本学の国家資格合格率の高さは、大学を選択する際の重要なキーポイントとなること、また、令和5年4月からの助産師課程の導入、さらには大学院設置に向けた検討もされていることなど、本学の学修に係る特徴を周知していく。

**他の質問** コロナ禍における企業の継続支援について・地域インフラ整備にかかわって



## 市内経済対策について

### 市内経済対策について

**問** 市内飲食関連業者の経営状況についてどのように認識しているか。

**答** 産官金連携なよろ経済サポートネットワークを開催し、商工会議所、商工会、市内金融機関との意見交換で食材や酒の卸売業者や観光関連事業者など幅広い影響があると認識している。

**問** 市内事業者に対し市独自の支援について考えているか。

**答** 商工会議所、商工会と連携して幅広い視点で調査し状況を把握する。市としてどのような支援の方策があるか検討する。

**問** 本市は資金繰りが厳しい事業者に対し緊急融資制度を行っている。長引くコロナ禍で、据置期間が終了し償還が厳しい状況になると予想されるが、支援について伺う。

**答** 令和4年度も感染症対策緊急資金関連の予算を提案し

市政クラブ

三浦秀 議員

ており、事業者に対し切れ目のない支援を考えている。

**問** 再生可能エネルギーの普及について市としての取り組みを伺う。

**答** 物流機材の再生可能エネルギー化や木質バイオマス発電事業を検討している。今後策定を予定している「再生可能エネルギー導入計画」において本市のポテンシャル等検討していく。



名寄市独自の支援を

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



人に優しいまちに

市民ネット 山崎 真由美 議員

### 授乳室・授乳スペース確保を

**問** 地域社会全体で子育てを見守る体制整備の一つとして、公共施設などへの授乳室・授乳スペースの更なる整備が望まれる。計画は。

**答** カーテン等で仕切り授乳スペースを確保してきているが、今後の公共施設の改築等においては、北海道福祉のまちづくり条例及び同施行規則の基準に合わせ整備していく。

### 孤独死をなくすために

**問** 緊急通報システムの設置など、孤独死を減らすため必要となる連携強化の更なる取り組みについて伺う。

**答** 名寄市では200台の緊急通報システムの準備があり、現在は127台が設置されている。近くに住む方に緊急協力員として協力いただき、安全確保と不安解消につないでいる。今後も日常的な地域の見守り活動の体制づくりに努める。

### 生涯スポーツの振興は

**問** スポーツによるまちづくりを市民で共有するために、冬季スポーツ拠点化プロジェクトが生涯スポーツの振興に果たす役割について伺う。

**答** 「身体的、精神的、社会的に良好な市民が暮らす街」の実現を目指すことが役割と考えている。一人でも多くの市民が、スポーツを通じて豊かな生活を営むことができるようにしていく。



市内には「北海道赤ちゃんのほっとステーション」としての授乳室もある



発症・重症化予防に接種を

公明 高橋 伸典 議員

### 3回目接種の推進を

**問** 昨年、第5波の折り1日100万人接種を進める中、接種者が8200万人に達し、新規感染者・重症者・入院者が減少し続け、日常生活が平常化しコロナワクチンの効果が実証された。この事からも3回目接種の早期実現を。

**答** 新型コロナウイルス接種(3回目)は、昨年12月から医療従事者を開始し、続いて高齢者施設の入所者及び介護従事者への接種を開始した。2月13日から一般高齢者の集団接種を開始し、これまでの予約の混乱を踏まえ、3回目接種は日時を指定して行う。ワクチンは主にモデルナ社製を優先に使用し、3月13日からファイザー社製の接種を行う。市立大学の職域接種は、3月下旬に開始予定で、4月中旬から一般の集団接種を開始する予定。

### 小児ワクチン接種早期実施を

**問** 小児ワクチン接種の体制と保護者への情報提供は。

**答** 5歳から11歳の新型コロナウイルスワクチン接種は、市立総合病院の小児科にて接種する。接種量や希釈量などが大人用とは異なるため、接種誤りを避けるため4月中旬以降を予定している。ワクチンの説明書や国で作成した接種案内チラシや保護者の方にはワクチン効能や副反応についてお知らせし周知を図る。

**他の質問** 高齢者支援の充実・認知症対策について



抗体免疫効果の保護者への情報提供を

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します  
二次元コードより発言の様子を見ることができます



命とくらし守ることを一番に

日本共産党 川村幸栄 議員

個人情報を守りつつ

**問** デジタル技術の進歩は、住民の福祉の増進のために、技術を有効に活用していくことが求められる。国民のくらしに役立つデジタル化は否定しないが、2020年版情報通信白書によると個人情報を提供することについて8割が「不安を感じる」と答えている。自治体も膨大な住民の個人情報を守るための取り組みについて伺う。

**答** 国は、令和2年12月「自治体DX推進計画」を策定。地方自治体の役割は極めて重要と位置付けた。重点取組事項は6項目に渡り、情報システムの標準化・共通化やセキュリティ対策の徹底が掲げられている。「名寄市情報セキュリティポリシー」について、令和4年度末を目途に見直しを行い、デジタル分野における個人情報保護について盛り込むこととし安全安心な

デジタル施策の推進に努める

補聴器購入の助成を

**問** 高齢者が社会で活躍、働いていくとき補聴器は必需品だが、高価であり購入をあきらめた人もいると聞く。健康寿命の延伸にもなる加齢性難聴者の補聴器購入助成を求め

**答** 現在、公的な助成は、身体障害者福祉法第4条に規定する高度・重度難聴者が対象国・道に公的補助を要望する。**他の質問** コロナ感染症対策にかかわって



デジタル化が進み、対面サービスの低下につながるのではとの危惧が。

特集

大学生との懇談会

「名寄市民はとっても優しい」



名寄大学連携教育活動の一環で名大生と市議が意見交換しました

コロナ感染拡大の小康状態を見ながら、12月6日名寄大学の学生と市議会議員が初めての意見交換を行いました。2年生の講義「地域との協働Ⅱ」の一環として行われ、学生は4学科から13名、市議18名が参加しました。議会の常任委員会ごとの3グループに分かれ、名寄での学生生活と学習環境について、このテーマで意見交換を行いました。まずは、自己紹介

を学生から順に行いました。お互い初めてのことで緊張しながらの自己紹介となりました。名寄大学を選んだ理由としては、公立であり、小規模校であること。オープンキャンパスでも気に入ったことが紹介されま

した。また、名寄は暮らしやすい街だとも。交差点の見づらさはあるが除雪がとんでも行き届いているとの評価も。学生全員が口をそろえて話してくれたのが、学生支援についての感謝でした。街のなかでも気軽に声をかけてくれるのがうれしい、との声も。4年間名寄市民として、共にまちづくりにかかわっていただきたいとの思いを強くしました。また、



もつと多くの学生たちの意見を聴きたいと思いました。



※DX：デジタルトランスフォーメーション  
デジタル化を通して情報が共有されネットワーク化されること

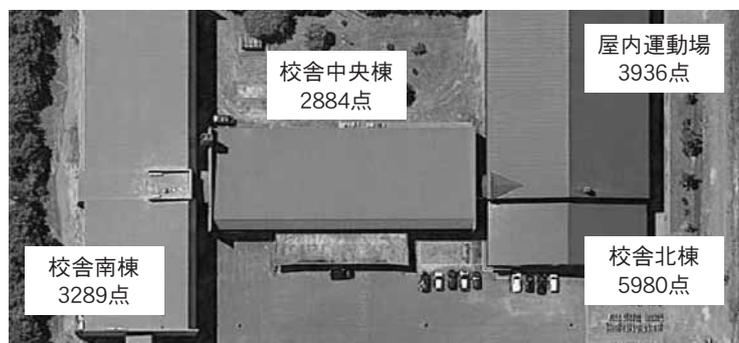
# 総務文教常任委員会活動報告

## 第1回委員会報告

2月9日に第1回委員会を開催し、教育委員会から、名寄市立学校設置条例の一部改正、令和3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査、名寄中学校・名寄東中学校耐力調査、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

総合政策部から、名寄市体育施設の管理に係る関係条例の整備に関する条例の制定、名寄市公共施設等再配置計画の策定、名寄市総合計画アンケート結果、宗谷本線名寄高校駅セレモニー、Nスポーツコミッション「なよろ健康レシピ開発プロジェクト」、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

名寄市立大学から、学生の就職活動、学生生活の各種支援、令和4年度一般選抜入試志願状況、大学院及び助産師課程、予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。



上空から見た名寄中学校

## 耐力度調査結果

総務部から、名寄市における押印見直し、補正予算の概要について説明を受けました。

名寄中学校・名寄東中学校の耐力度調査が行われました。構造耐力の低い建物で、令和7年度までに概ね解消することに努めるとしています。（二万点満点中の値は次の通り。）



名寄東中学校

## 大学院・助産師課程設置

大学院の教育課程は、健康科学研究科健康科学専攻（仮称）とし、修士の修得が可能となります。入学定員を10名程度予定しています。助産師課程は、保健福祉学部看護学科助産師課程を教育課程とし、助産師国家試験受験資格の取得を可能とします。募集定員は4名としています。

## 議会改革について

議会改革では、名寄市議会基本条例を検証する中、問題・課題を整理し議論を行っています。

議員定数のあり方については、積極的な議論の結果、今後、議員一人ひとりが日々の研鑽と資質の向上に努め、議会活動に注力するとともに、より効果的な議会運営と市民意見の反映を目指し、次期議員定数を2人削減することを決定し、議員定数条例を改正しました。なお、現在の議員報酬のあり方について、議員報酬が適正な水準にあるか否かについて協議を行っています。

市民との意見交換会において出された意見等を踏まえ、議会活動等の見える化や市民ニーズの把握について、今後の市民との意見交換会の開催方法を含め、情報発信のあり方など、協議を行っています。

また、効率的な議会運営のためのタブレット導入では、先進地の視察など調査研究を踏まえた協議を行い、導入を決定しました。

## 市民福祉常任委員会活動報告

### 新型コロナウイルス感染症対策

1月21日開催第1回委員会では3回目のワクチン接種について、医療従事者・高齢者・64歳以下・5歳から11歳・市立大学の職域接種状況を説明。2月10日開催第2回委員会では国及び北海道、名寄市内の状況について報告があり質疑を行いました。

### 認定子ども園整備事業

第1回委員会では新南保育所は名寄市立地適正化計画に基づき令和4年度から実施する「都市構造再編集中支援事業」において幼保連携型認定子ども園の整備に限り、都市機能や居住環境の集約による持続可能な都市構造へ再編を図る誘導施設として事業認定（交付金の活用）が出来ることとなり、幼保連携型認定子ども園として整備を進めるとの説明がありました。

第2回委員会では幼保連携型認定子ども園に伴い西保育所を令和5年に閉所し令和6

年度から

は東保育所を3歳未満児に特化する等報告があり質疑を行いました。



幼保連携型認定子ども園（案）

### 市立総合病院

第2回委員会では北海道が認定した院内クラスターによる入院予約、退院の調整の状況、その他定例会提出予定議案・令和3年度第3四半期の



コロナ感染症対策の最前線で日夜奮闘する市立病院スタッフ

収支・令和4年度診療体制・診療報酬改定・看護職員等処遇改善事業について報告があり質疑を行いました。

### 臨時特別給付金

第1回委員会では住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の趣旨、支給対象者、給付額、手続方法、施行期日について説明。子育て世帯への臨時特別給付金の給付状況では児童手当対象世帯、公務員世帯の支給状況、高校生のみ世帯への申請案内通知について報告がありました。

第2回委員会では暖房費用緊急支援事業は2月8日現在711世帯より申請があり1月20日より随時支給。それぞれ報告があり質疑をしました。

### 第3期名寄市地域福祉計画

計画に対するパブリックコメントを実施。団体名の記載要望意見1件で素案は修正なし。

そのほか第1回委員会で国民健康保険税課税限度額の引き上げ、第1回定例会提出予定の主な補正予算（案）について報告がありました。

## 議員会新年研修会

1月21日に北海道コンサドーレ札幌カーリングチームの谷田康真氏をお招きして「カーリングと地域スポーツ」をテーマに、講演をして頂きました。名寄市で生まれ育った谷田氏の、カーリングとの出会いは、友人のおじい様がされていたカーリングを遊びとして体験したことがきっかけだったそうです。谷田氏には、カーリングと出会ってから現在までの経験と、それに関連して世界のカーリングとの関わり方など貴重なお話を頂きました。また次世代に繋げられる支援体制や、名寄における地域スポーツ拠点化の考え方について、谷田氏と意見交換をする場を設けていただき、大変意義深い新年研修会となりました。



カーリングを地域スポーツにと願う谷田氏

## 経済建設常任委員会活動報告

令和3年第4回定例会付託議案第2号 名寄市企業立地促進条例の制定他2件について

1月13日に第1回委員会を開催し、令和3年第4回定例会で付託された、議案第2号名寄市企業立地促進条例の制定について他2件の審査を行いました。提案内容について説明を受けた後、委員から条例中、常時雇用者の表現が混在する理由、助成に関する定義の考え方などについて質疑があり、説明員からは、条文で明確に定義されており、表現の違いにより矛盾や齟齬が生じることはない。助成についてあえて定義しなくても、市が事業者に支援するということは伝わりと考慮しており、実際の助成の内容は項目の中で明記しているなどの答弁がありました。全質疑終了後、委員間協議を行い、採決の結果全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 道路除排雪事業の中間報告

2月8日に第2回委員会を開催し、経済部から主な補正予算の概要、森林計画制度の見直しによる地域森林計画、市町村森林計画の変更等の内容について説明を受けました。

建設水道部からは、主な補正予算の概要の他、名寄市耐震改修計画の素案について、名寄市公営住宅等長寿命化計画の素案について、今年度の道路除排雪事業の状況などについて説明がありました。



シャワールームに改修予定のスタッフルームを確認

2月22日の第3回委員会では、本年4月から改修工事が予定されている、なよろ温泉サンピラーの施設状況等の現地視察を行いました。現地では、シャワールームに改修する予定のスタッフルームや、レストランの他、スキーロッジ、レストセンター、ピヤシリフォレストなどのスキー場関連施設の状況について確認しました。また、昨シーズンから設置されたキッズパークや、今シーズンから新事業として実施しているテントサウナなどを視察し、現状の取り組みについて理解を深めました。

### なよろ温泉サンピラー現地視察



今シーズン新たに取り組んでいるテントサウナを視察

## 林活議連研修会

名寄市議会林活議連では、1月17日に上川総合振興局産業振興部 五十嵐孝史林務課長を講師に招き「北森カレッジの役割と道内林業の振興について」をテーマに研修会を開催しました。

講演では、林業・木材産業は森林資源の循環利用サイクルを回すことで、自然環境を保全し、人々の豊かな暮らしと持続可能な社会の実現を目指す産業です。しかし、労働者の約3割が60歳以上と高齢者の割合が高く、森林づくりを担う人材を育成・確保することが喫緊の課題です。北森カレッジは、即戦力の人材と企業の中核を担う人材の育成に取り組んでいます。



北の森づくり専門学院で人材確保を

議会運営委員会  
活動報告

令和4年第1回定例会の日程、議事運営などを協議するため、1月17日から3月17日まで委員会を8回開催しました。

2月18日の委員会では会期を2月21日から3月17日までの25日間とすること、一般質問は7日8日の2日間とし9名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は、名寄市体育施設の管理に係る関係条例の整備に関する条例の制定についてなど24件で、付託議案3件の委員長報告を行うこと、議案第15号令和4年度名寄市一般会計予算のほか5特別会計予算と3企業会計予算を、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託し、審査することとしました。

3月16日の委員会では、付託された議案第15号ほか8件に係る委員長報告と定例会最終日の追加議案である特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定についてほか5件の審議及びロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議を行うことを確認しました。

議会スナップ

ふうれん冬まつり

今年にはコロナ禍での縮小型開催となってしまいました。が、「ふうれん冬まつり」雪像づくりに挑戦しました。

「市議会議員と仲間たち」で作成する雪像は、例年千支を配したすべり台と決めています。しかし、今年は無密をつくらないことに配慮し、すべり台のない寅の雪像のみ。来年こそはすべり台を滑って、元気に遊ぶ子ども達の姿が見られますように。と、願いながらの作業でした。

様々に変化する状況下でも、みんなで知恵を出し合い、寅（トライ・挑戦）する仲間でありたいと思っています。



完成したトラの雪像

議会日誌 1~4月

- 1/12 各会派代表者会議
- 1/13 経済建設常任委員会
- 1/17 議会運営委員会
- 1/21 議会運営委員会
- 令和4年第1回臨時会
- 市民福祉常任委員会
- 1/28 議会運営委員会
- 1/31 上川北部市町村議会議長会(和寒町)
- 2/4 議会運営委員会
- 2/8 経済建設常任委員会
- 2/9 総務文教常任委員会
- 2/10 市民福祉常任委員会

- 2/14 各会派代表者会議
- 総務文教常任委員会
- 2/18 議会運営委員会
- 議会報特別委員会
- 2/21 令和4年第1回定例会開会
- 予算審査特別委員会
- 2/22 経済建設常任委員会
- 3/7 議会運営委員会
- 3/11 経済建設常任委員会
- 3/14 予算審査特別委員会(～17日)
- 各会派代表者会議
- 3/16 議会運営委員会
- 3/17 議会運営委員会
- 令和4年第1回定例会閉会

- 3/30 市民福祉常任委員会
- 4/4 議会報特別委員会
- 4/8 総務文教常任委員会
- 議会運営委員会
- 4/13 議会報特別委員会
- 4/14 北海道市議会議長会
- 役員会(旭川市)
- 4/18 北海道市議会議長会
- 道北支部議長会
- 4/20 市民福祉常任委員会
- 4/22 議会運営委員会
- 4/27 北海道市議会議長会
- 定期総会(富良野市)

市民の声を市政に生かします!!

議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴するには、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温やマスクの着用をはじめ、間隔を空けて着席していただくなどのご協力をお願いします。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局(☎01654-3-2111)へお問い合わせください。



議会報特別委員会視察報告

和寒町議会、美深町議会

議会報特別委員会は、任期  
中1回の視察が認められてい  
ますが、新型コロナウイルス  
感染症の感染拡大で、視察を  
見送らざるをえない状況が続  
いていました。任期も残すと  
ころ1年ではありますが、今  
回視察させていただいた先進  
的な取り組みについて、委員  
会の中で十分に検討をして、  
市民のみなさんにお返しでき  
るようにしたいと思います。



三密を避けた広い会場で視察させていただいた和寒町議会。

今回視察させていただいた  
和寒町議会、美深町議会の議  
会だよりは、北海道町村議長  
会広報コンクールで入選され  
ています。住民のみなさんに  
知らせたいことは何か、住民  
のみなさんが知りたいと思っ  
ていることは何か、それをど  
う伝えるかを議論し合いなが  
らそれぞれの議会の持ち味を  
発揮し、編集に取り組みれて  
いることが伝わる議会だより  
となっていることから、ぜひ  
視察させていただきたいとお  
願いしました。視察の中で両  
議会とも、写真や空白、見出  
し文字の効果的配置に配慮し  
た誌面構成を行い、伝わり易  
い議会だよりとなっているこ  
と、二次元コードの効果的な  
活用も含め、参考事例を確認  
することができました。今回の  
視察を通し、名寄市議会  
「議会だより」にすぐに反映  
できること、議会全体で検討  
が必要なこと等を確認し合い  
ながら、わかりやすく読んで  
みたい議会報を目指したいと

思います。



視察を受け入れていただいたお礼を美深町議会に述べる川村委員長。

議会報特別委員会  
からのお知らせ

市議会では、議会だよりの  
他に2種類のかわら版を発行  
し、掲示しています。

- ◆定例会一般質問の発言通告
- ◆定例会直後の速報版

《主な掲示場所》

名寄市民文化センター  
ふうれん地域交流センター  
駅前交流プラザ「よるーな」  
総合福祉センター  
風連国保診療所  
なよろ温泉サンピラー

他15カ所

定例会直後に  
速報版を発行

市議会では、定例会の内容  
を、議会だよりを通して皆様  
にお知らせしています。議会  
だよりは、定例会開会月（3  
月・6月・9月・12月）の1  
カ月から2カ月後の発行にな  
りますが、少しでも早く市民  
の皆様定例会の情報を届け  
たいので、今後は定例会  
が開会した直後に、かわら版  
として速報版を発行いたしま  
す。早速第1号は、4月5日  
に発行し公共施設等に掲示を  
しました。次回は、6月の第  
2回定例会閉会直後に速報版  
を発行する予定ですので、ぜ  
ひご覧ください。

